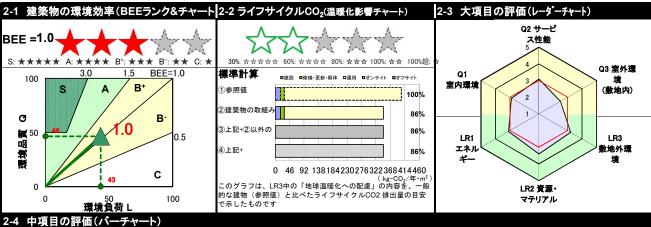
(/ 1) (/ 1) (/ ▮評価結果

-(**新築)2014年版** □使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)









3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事におけ
		る廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、
		建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環
		境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を
してください。	記載してください。	簡潔に記載してください。
快適な執務空間と、航空機の騒音に配慮し、サッシの防	執務室の機能性に配慮し、OAフロアを取り入れた。ま	工事範囲内に可能な限り緑地を設けた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に
記載してください。	潔に記載してください。	記載してください。
外装サッシに必要に応じてLow-Eガラスを採用し、熱負	リサイクル材の活用と、有害物質の含まない内装材を使	適切な駐車場、駐輪場の配置により、交通負荷の抑制に
荷の低減に配慮した。	用する計画とした。	考慮した。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される